



平成 24 年 10 月 7 日、野田総理は、東日本大震災による被災状況を把握するため、福島県を訪問しました。



[09:55] 初めに、福島県双葉郡広野町のエリア警戒隊の拠点（折木集会所）を訪問し、警戒区域の治安維持に当たっている警察部隊を激励しました。

「今なお多くの住民が避難を余儀なくされているなか、この地域の治安を守るため、昼夜を分かたず、献身的にパトロールや検問に取り組んでいる諸君を本当に頼もしく思う」
(報道より)



[10:17] 続いて、双葉郡楡葉町の J ヴィレッジを訪れ、事故発災直後に現場対応にあたった方々と懇談をした後、

東京電力などの作業員 8 人と懇談
「恐怖と過酷な環境の中、奮闘した皆さんに国民の一人として感謝する」 (報道より)



[12:20] 防護服に着替え、東京電力福島第 1 原子力発電所内に移動し、緊急時対策本部で原発事故の収束にあたった職員を激励した後、

「皆さんの使命感と責任感、努力で廃炉に向けた歩みが着実に進んでいる。共に力を合わせ、福島の再生に頑張っていこう」
(報道より)



(13:29~34) 4号機建屋上部、

.....
約5分間滞在。海側では400 $\mu\text{Sv/h}$ を記録。黒くよどんだ使用済み核燃料プールの状況についてパネルも使って説明を受け、保管されている1533体の燃料を早期に取り出す工事の準備作業を確認。敷地内で最も高線量を記録したのは3号機海側地点で1500 $\mu\text{Sv/h}$ (報道より)
.....



(13:52) 1・2号機中央操作室を視察しました。



「当時、津波が来た後に真っ暗になりました。照明を全部暗くして当時を再現(消灯時間:30秒)します」東電社員が照明を消すと同時に暗闇に包まれた。説明者が懐中電灯で照らすと、原子炉の水位計とその隣の壁に鉛筆で書かれた文字が浮かび上がった「16:40 -90cm、16:50 -120cm、16:55 -130cm」(報道より)

(16:04) その後、放射性物質の除染作業が進められている楢葉町にある小学校（町立楢葉南小学校）と



.....
首相は同行した長浜博行環境相（原発事故担当相）に福島県での除染作業の加速を指示
(1) 環境省から出先機関「福島環境再生事務所」に権限移譲し作業を迅速化 (2) 住民への除染の進み具合の情報提供 (3) 関係府省の連絡強化に関する対応策をまとめる (報道より)
.....

汚染土壌が搬入されている仮置場を視察し、除染作業等の概要説明を受けました。



(16:28) 楢葉町大坂地区の汚染土壌仮置場

最後に、本宮市へ移動し、

(18:21) 福島県の24年産米の検査の行われている米全袋検査場を視察、



福島県のオリジナル品種「天のつぶ」で作ったおにぎりを試食しました。

